

公衆衛生看護技術開発研究会

# ワザケン the 15th

オンライン YouTube 開催

「地域の強みを高める公衆衛生看護技術」のご紹介

## テーマ 地域の強みを高める 保健師のスゴワザ発見伝！

この資料は、2020年11月21日（土）のワザケンで使用したものです。

### プログラム

保健師のワザの概要と教材（岡本玲子）

ワザの各論 スゴワザ発見伝！

1. 探索（合田加代子）
2. 活気づけ（草野恵美子）
3. 促進（蔭山正子）
4. 協同（小出恵子）
5. 継続的質改善（塩見美抄）
6. 政策・資源開発（聲高英代）

コーディネーター：小出恵子・田中美帆

社会の変化に応じて、人々の「生」を衛るために公衆衛生の専門職はその活動を推進し、歴史を刻んできました。

とりわけ、公衆衛生看護を担う保健師は、ゆりかごから墓場まで、あらゆる状態・状況にある人々を対象に、より健康な方向を目指してさまざまな活動を展開してきました。公衆衛生看護技術開発研究会(ワザケン)は、わたしたち保健師の公衆衛生看護技術を可視化し、確認、習得、普及するための教育研究活動を継続しています。保健師の自信と誇りをより高められるよう、みんなとともに歩めればと思います。ぜひご参加くださいますよう、お願いします。

2020世話人：岡本玲子・蔭山正子・田中美帆(大阪大学), 岩本里織(神戸市看護大学), 塩見美抄(京都大学), 小出恵子(四天王寺大学)  
草野恵美子(大阪医科大学), 合田加代子・聲高英代(甲南女子大学), 大阪大学大学院 公衆衛生看護学教室院生

# 本日の流れ

## 1. 保健師のワザの概要と教材紹介

岡本玲子

## 2. ワザの各論 スゴワザ発見伝！

- |           |       |
|-----------|-------|
| 1)探索      | 合田加代子 |
| 2)活気づけ    | 草野恵美子 |
| 3)促進      | 蔭山正子  |
| 4)協同      | 小出恵子  |
| 5)継続的質改善  | 塩見美抄  |
| 6)政策・資源開発 | 聲高英代  |



## 3. チャット書き込み紹介・質疑応答

田中美帆ほか

# 文献

1. 岡本玲子編著：地域の強みを高める公衆衛生看護技術ーポジティブヘルス推進へのワザトレー。医歯薬出版，2020
2. 岡本玲子・他：公衆衛生看護が関わる地域の強みとはー文献の分析による概念化ー。日本公衆衛生看護学会誌，8(1)：12-22，2019。 DOI：  
[https://doi.org/10.15078/jjphn.8.1\\_12](https://doi.org/10.15078/jjphn.8.1_12)
3. Okamoto, R. et al. : Public Health Nursing Art to Enhance “Strength of Community” in Japan. The Open Nursing Journal, 13(1):177 - 185, 2019. DOI : <https://doi.org/10.2174/1874434601913010177>
4. Okamoto, R. et al. : Effectiveness of simulation learning program for mastering public health nursing skills to enhance strength of community: A quasi-experimental design. Nurse Education Today, 90 104432–104432, 2020. DOI : <https://doi.org/10.1016/j.nedt.2020.104432>
5. 岡本 玲子：目指すのは公衆衛生看護技術の具体的イメージ化とグローバル化。日本公衆衛生看護学会誌，8(1):1-2，2019。



## わけ 保健師のワザを見せる理由



## ワザ 保健師の技術とは？

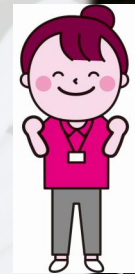


保健師ワザをゲット！      ワザトレしよう！  
地域の強みを高める**公衆衛生看護技術を習得する教材**



# 保健師のワザ<sup>わけ</sup>を見せる理由

- \* 保健師は不思議な専門職。何をする人？ ➡ 説明が難しい職業
- \* ポピュレーション（Population）を対象として、その状況や変化に応じて変幻自在に活動。 ➡ その時々【成解<sup>せいがい</sup>】を導き続ける専門性。
- \* 見えにくいが高度な技術ワザ<sup>わけ</sup>を駆使。 ➡ 見えないままでいいのか？  
➡ 専門職は【体系的な理論と伝達可能な技術】を持つ ➡ 見せねば！
- \* 地域の最良の健康/公衆衛生の向上というアウトカムを目指して活動し、社会に貢献している保健師の存在価値は大きい
- \* ➡ もっとその社会的認知を高めよう！
- \* ➡ 保健師自身の自信と誇りも高めよう！ **だから見せる！**





わけ  
保健師のワザを見せる理由



ワザ  
保健師の技術とは？



保健師ワザをゲット！      ワザトレしよう！  
地域の強みを高める公衆衛生看護技術を習得する教材



# 保健師の技術とは？

- \* **公衆衛生看護技術**（Public Health Nursing Art）とは、**公衆衛生看護実践に適用する**ものであり、**社会的公正を規範とし、公衆衛生の向上をめざし、個人と家族、人々、コミュニティに働きかけ、その力量形成や環境改善を図る目的意識的な行為**  
（岡本,2019 DOI [https://doi.org/10.15078/jjphn.8.1\\_1](https://doi.org/10.15078/jjphn.8.1_1) を一部修正）



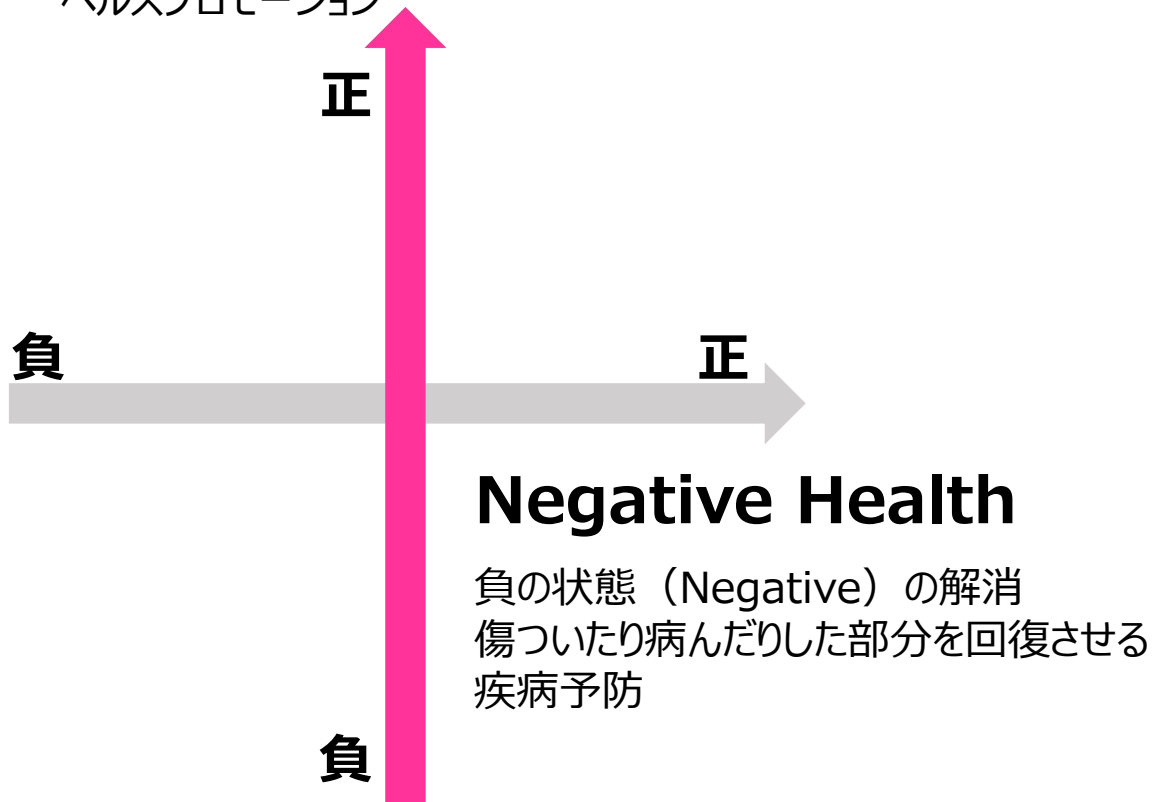
- \* 《公衆衛生看護の定義》公衆衛生看護の**対象**：あらゆるライフステージにある、すべての健康レベルの個人と家族、及びその人々が生活し活動する集団、組織、地域などの**コミュニティ**。
- \* 公衆衛生看護の**目的**：自らの健康やQOLを維持・改善する**能力の向上**及び対象を取り巻く**環境の改善**を支援することにより、**健康の保持増進、健康障害の予防と回復**を促進し、もって**人々の生命の延伸、社会の安寧**に寄与すること。
- \* **目的を達成するために**：社会的公正を活動の規範におき、系統的な情報収集と分析により明確化若しくは予測した、個人や家族の健康課題とコミュニティの健康課題を連動させながら、対象の生活に視点をのこした支援を行う。さらに、対象とするコミュニティや関係機関と協働し、社会資源の創造と組織化を行うことにより対象の健康を支えるシステムを創生する。  
（日本公衆衛生看護学会,2014）

# 保健師の技術とは？

# 目指す方向はポジティブヘルス！

## Positive Health

正の状態 (Positive) の増進  
より良く生きる、生き甲斐を感じる生き方  
ヘルスプロモーション



ポジティブヘルスとネガティブヘルスの健康概念

(Downie RSら1990, 藤代ら訳 2010を一部改変)

## ➤ WHO 健康の定義 (1946)

Health is **a state of complete physical, mental, social well-being** and not merely the absence of disease or infirmity.

「単に病気や虚弱でないだけでなく」という  
負の状態から脱する方向の軸と、

「身体的・精神的・社会的に良好な状態」という  
**より正の方向へ向かう軸**が示されている。

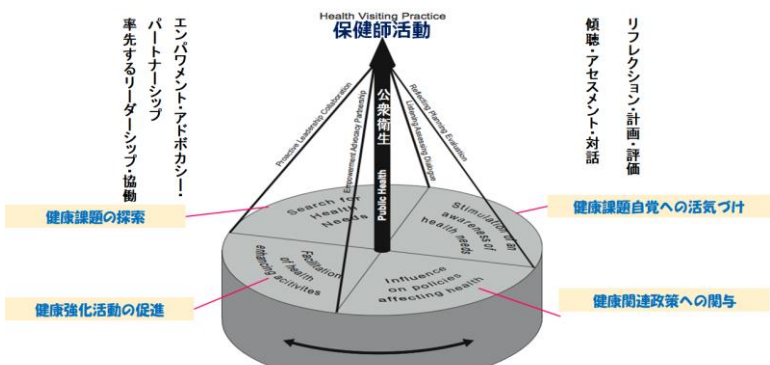
保健師こそが  
**ポジティブヘルスを推進する！**



# 保健師の技術とは？



## ヘルスプロモーション



## 英国：保健師活動の原則

すべて  
【ポピュレーションベースの  
公衆衛生介入】

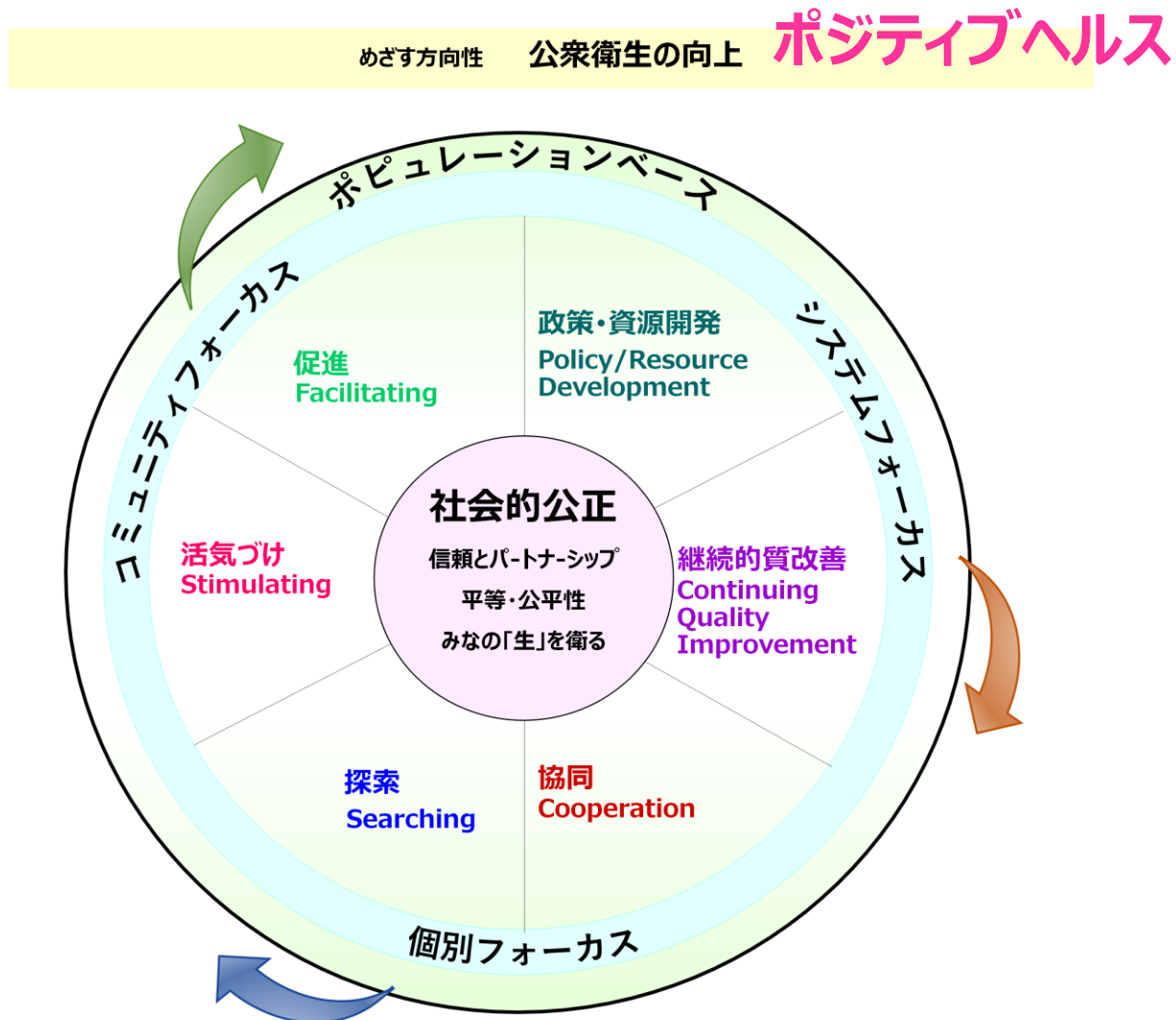
ホイールの内側  
【3つの公衆衛生実践レベル】

個別フォーカス  
地域フォーカス  
システムフォーカス



## 米国：公衆衛生看護実践の活動の輪

# 見せる枠組みを考案！





わけ  
保健師のワザを見せる理由



ワザ  
保健師の技術とは？



保健師ワザをゲット！      ワザトレしよう！  
地域の強みを高める**公衆衛生看護技術を習得する教材**



# 地域の強みを高める公衆衛生看護技術 **ワザ**を習得する教材

## **シナリオベースのシミュレーション教材**を3つ作りました！

(オンライン研修お受けします・研究協力無料 reiko@sahs.med.osaka-u.ac.jp )

- \* **【探索】シミュレーション： 仮想地域に出て，衛る「生」を探れ！**
- \* 実際に保健師が十数年かけてエンパワーした地域です．リアルな事例で疑似体験！
- \* あなたは担当保健師になってWeb教材の中の仮想地域に出かけ情報収集します。
- \* **【活気づけ】シミュレーション： みて・きいて・実感持ってワザ・ゲット！**
- \* 同地域の課題を解決するために，保健師が住民に自主的な活動を促します。
- \* 2つの対照的な動画を見て(実際に演じてみて)その比較からポイントを導きます！
- \* **【促進】シミュレーション： ジレンマ体験から原則を共有せよ！**
- \* 同地域の住民組織が岐路にあり，あなたがメンバーの悩みに応える場面です。
- \* 状況設定したカードゲーム(クロスロード)で楽しみながら経験知を増やします！



# 本日の流れ

## 1. 保健師のワザの概要と教材紹介

岡本玲子

## 2. ワザの各論 スゴワザ発見伝！

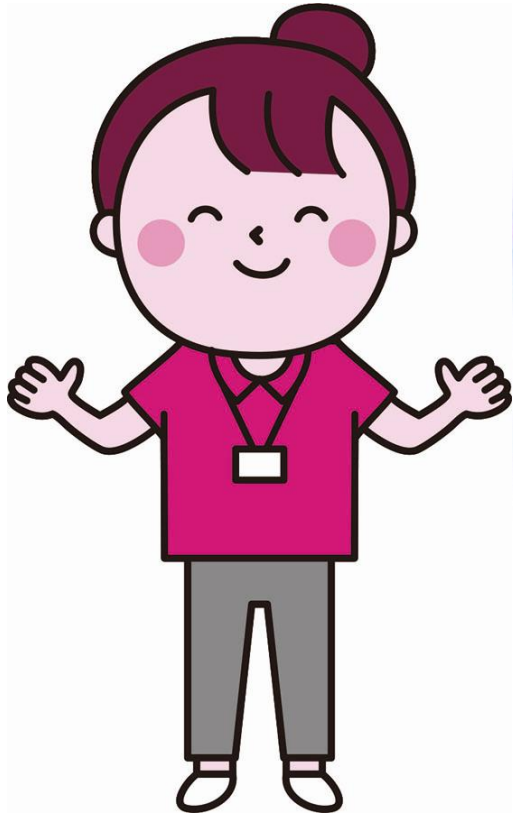
- |           |       |
|-----------|-------|
| 1)探索      | 合田加代子 |
| 2)活気づけ    | 草野恵美子 |
| 3)促進      | 蔭山正子  |
| 4)協同      | 小出恵子  |
| 5)継続的質改善  | 塩見美抄  |
| 6)政策・資源開発 | 聲高英代  |

前提となる  
【規範】

社会的公正

## 3. チャット書き込み紹介・質疑応答

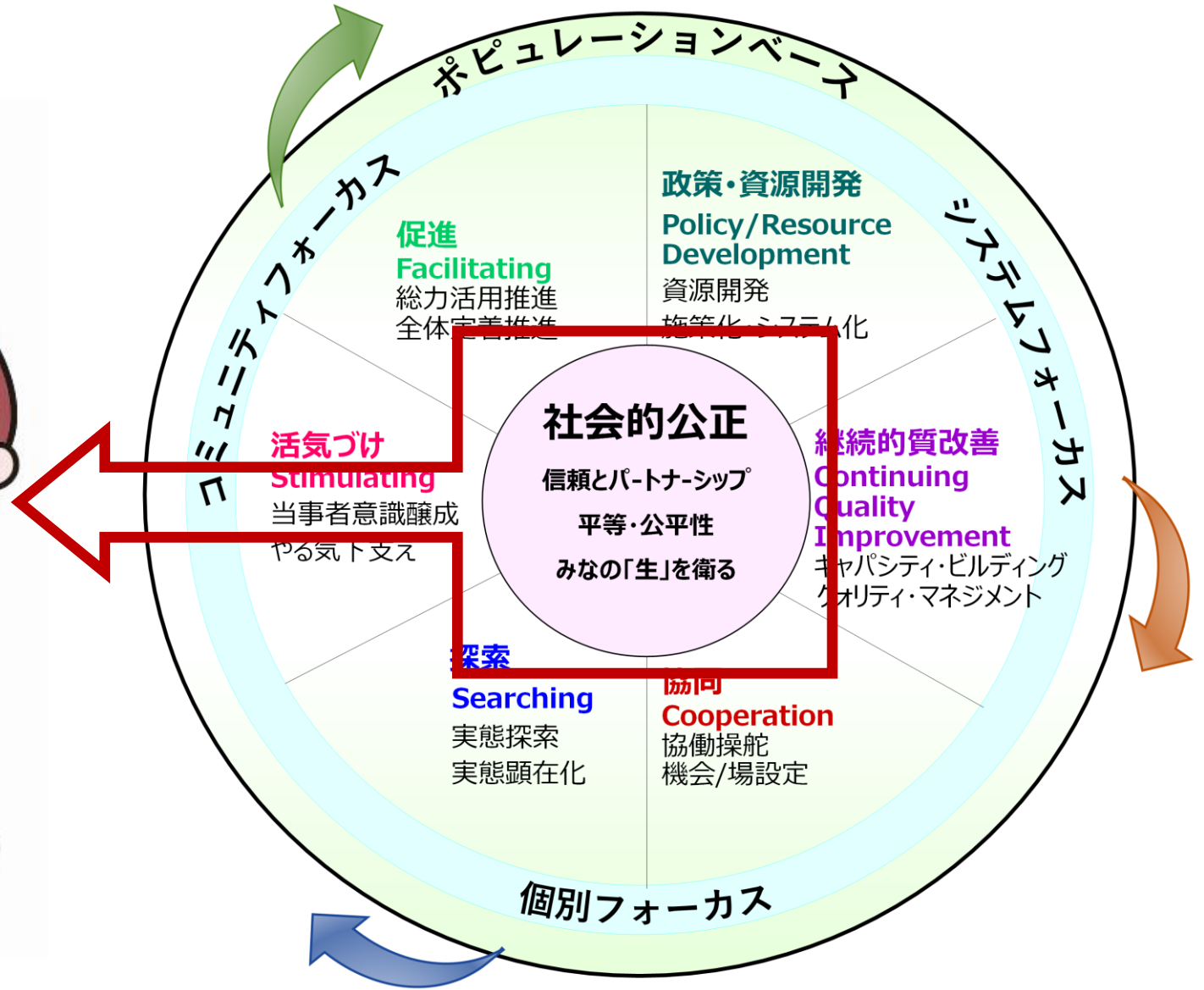
田中美帆ほか



# ワザの各論 スゴワザ発見伝！

めざす方向性 ポピュレーションの最良のポジティブヘルス状態（公衆衛生の向上）

【規範】



## 【社会的公正】

- 日本公衆衛生看護学会の定義では、公衆衛生看護の活動の規範とされている概念です。
- 人間が社会生活を営む上で、正しいとされる道理。

《信頼とパートナーシップ》・・・保健師が、困難な状況にある住民や地区組織と向き合う際など、彼らが変容できる存在であることを信じ、常に住民中心に意思を尊重する一貫した姿勢を示しています。

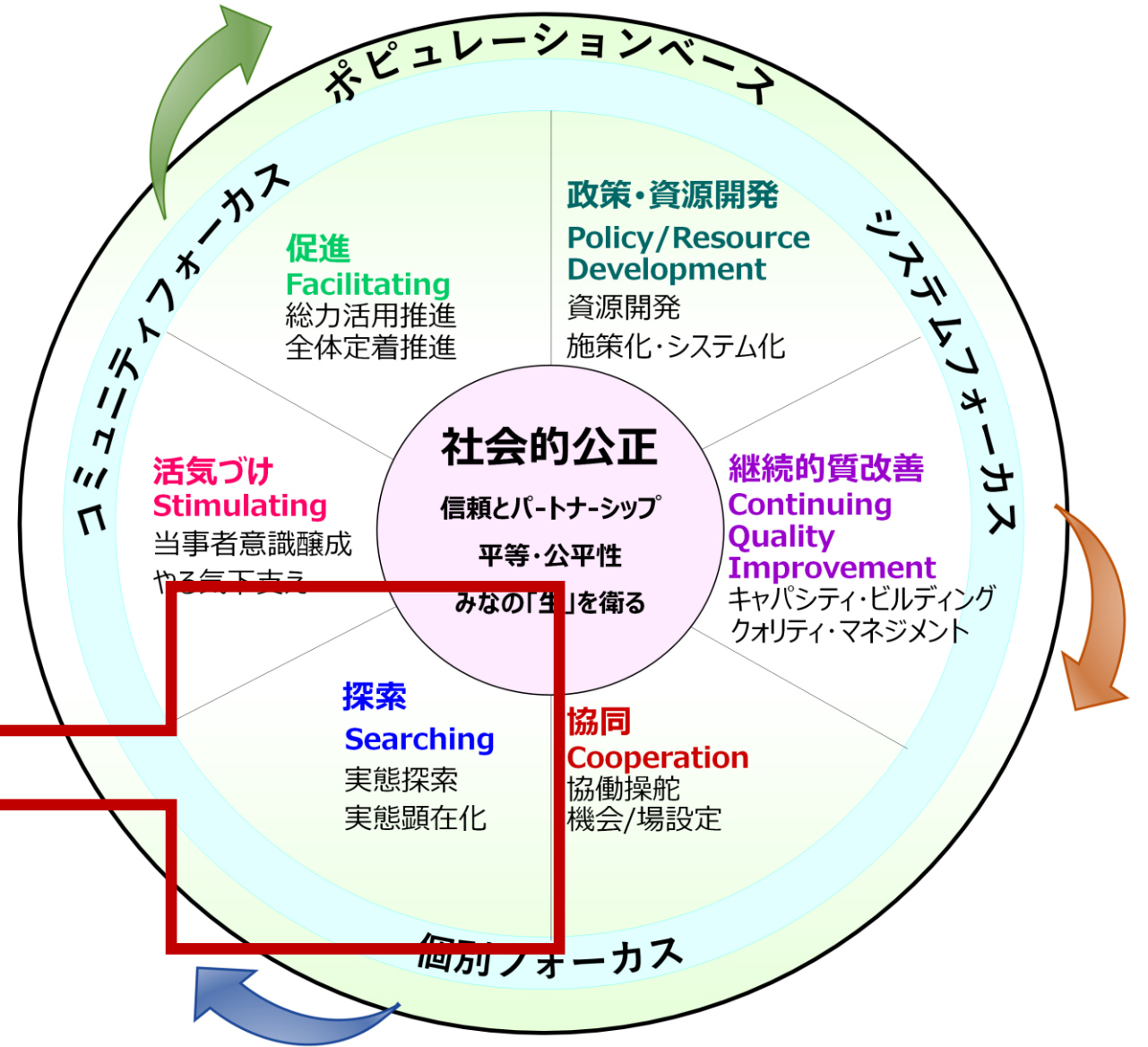
《平等・公平性》・・・保健師が、いつも地域全体を念頭に置き、健康に影響する格差が生じないように活動する姿勢を指しています。

《みな「生」を護る》・・・保健師が、Health for Allを保障する専門職（プロフェッショナル）として、すべての住民の生命・生活・生きる権利を衛ろうとする姿勢を示しています。

# ワザの各論 スゴワザ発見伝！

めざす方向性 ポピュレーションの最良のポジティブヘルス状態（公衆衛生の向上）

【探索】



探索とは、健康に関連する事象を探索する技術のこと

## 《実態探索》

〈強み発掘〉・・・地域の強みを高めるために**地域に潜んでいる地域の強みを発掘**するワザです。

〈課題把握〉・・・地域の強みが損なわれるような**危機や限界を把握**するためのワザです。

〈資源探索〉・・・地域の様々な資源や**資源の活用性・普及の可能性**を探索するワザです。

## 《実態顕在化》

〈見える化〉・・・地域の実態を文書や図表を作成して**見える化**するワザです。

〈実在見せ〉・・・全容がわかるプロット地図や当事者の生の声から**地域の実在を見せる**ワザです。

〈要因見せ〉・・・地域の実態の背景にある健康の阻害・促進要因の**分析結果を見せる**ワザです。



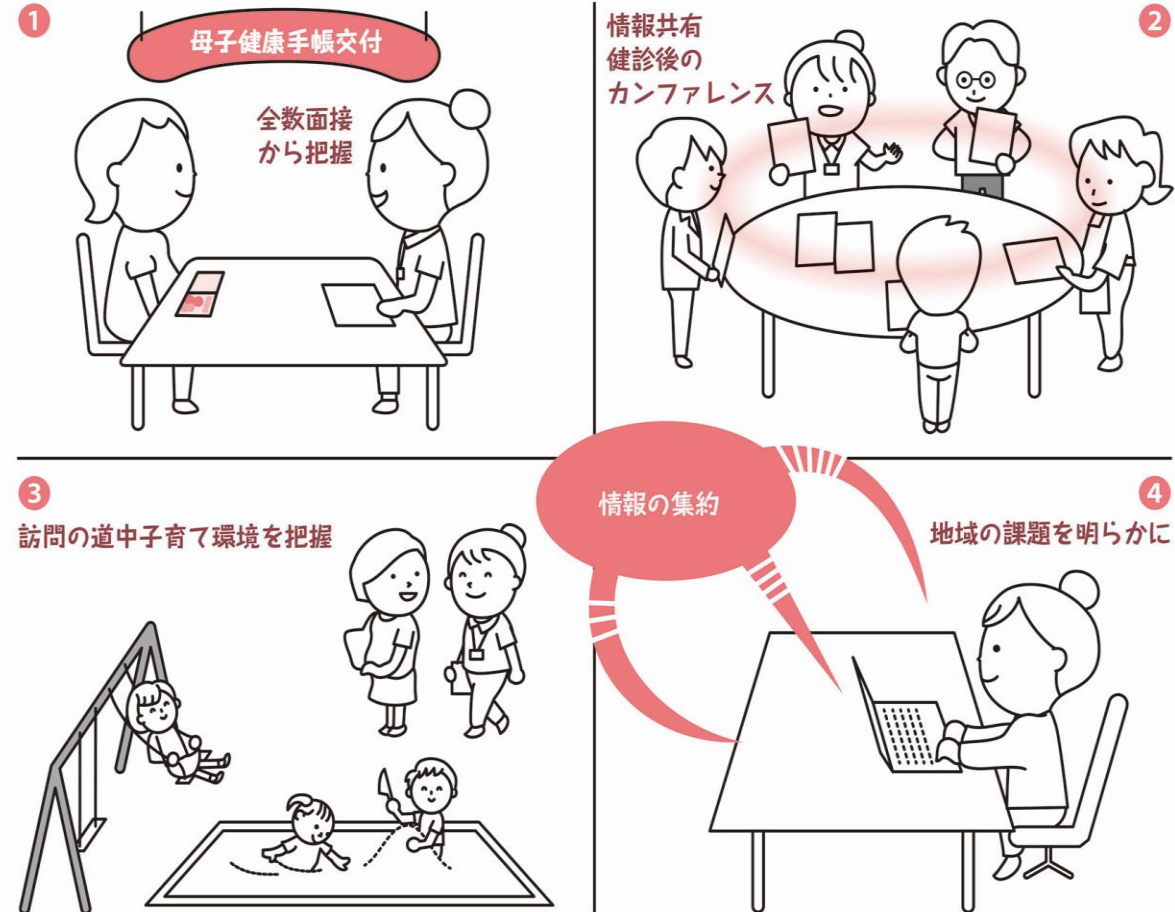
## 《実態探索》〈課題把握〉 エピソード

高層マンションの多いA市で、児童虐待が発生し、保健師は、**衛る生命が衛られていない危機を感知し、過ちを繰り返してはいけない**と思いました。

そこで、保健師は、早期から関わる対象を把握するために、母子健康手帳交付時に、全妊婦と面接することにしました。

さらに、健診後のカンファレンスでは様々な視点での情報共有や未受診者訪問を徹底しました。訪問の道中では、子育て環境を把握したり、民生委員などに日頃気になることを尋ねました。

そして、健診や訪問などで把握した情報を集約し、子育て世代が有する健康課題を明確にし、計画立案につなげました。



## 《実態探索》〈課題把握〉

### 何をめざすのか

- ◆ 地域の強みが、地域にどの程度不足しているかを把握する。
- ◆ 「住民の状態」や「住民の周辺状況」を探り、地域に不足する力を把握し、健康課題と関連づけ、地域の力を強めることで見込める成果の可能性を探る。

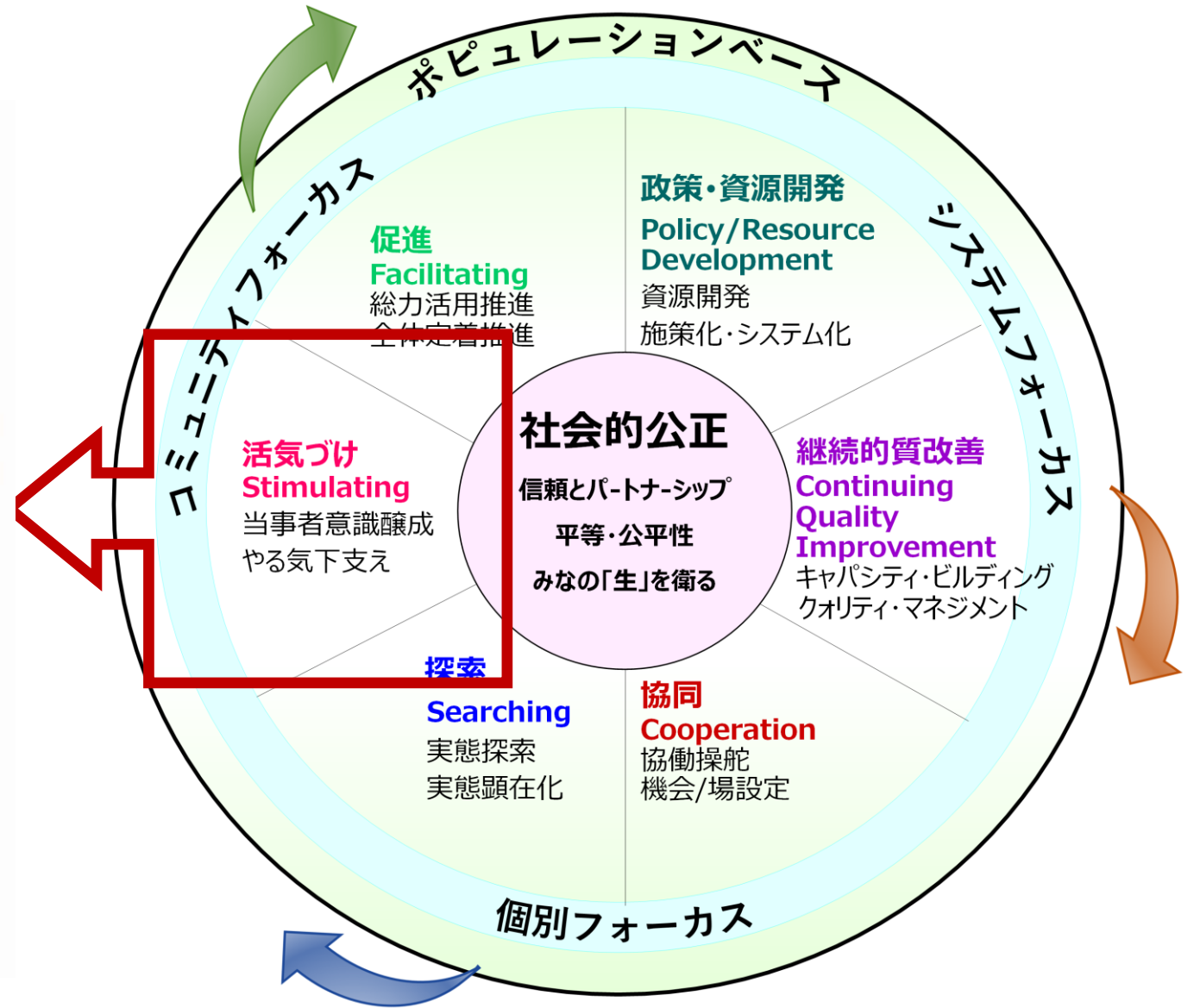
## ワザを活かすためのポイント

- ◆ かけがえのない命を必ず衛るという**姿勢**をもつ。
- ◆ 鳥の目（俯瞰）、虫の目（緻密）、魚の目（経過）を駆使して、**地域の健康と生活の実態**を捉える。
- ◆ **自分の目**で暮らしの場における実態を捉える。
- ◆ 地域のキーパーソンと関係づくりしながら本音や意見を集めて**住民の視点から**地域を捉える。
- ◆ **全数把握**して、対象集団の健康課題を捉える。
- ◆ 収集した**情報を横断的・縦断的に比較・分析**する。

# ワザの各論 スゴワザ発見伝！

めざす方向性 ポピュレーションの最良のポジティブヘルス状態（公衆衛生の向上）

【活気  
づけ】



## 《当事者意識醸成》

〈ワレラゴト共有〉・・・当事者である**住民同士**が、自分たちにとっての**目的と意味を共有し**地域の**実態**（課題や強みなど）を「**我ら事（＝ワレラゴト）**」とする**意識を醸成**するワザです。

〈みなで / とともに / 楽しく浸透〉・・・〈ワレラゴト共有〉を土台にして、地域全体に「**全員主体**」「**交流・参加**」「**明るく前向き**」の価値を**根付かせていく**（これらの**意識醸成をめざす**）ワザです。

## 《やる気下支え》

〈発起アシスト〉・・・**住民自ら**が**取り組みをはじめる意欲**をアシストするワザです。

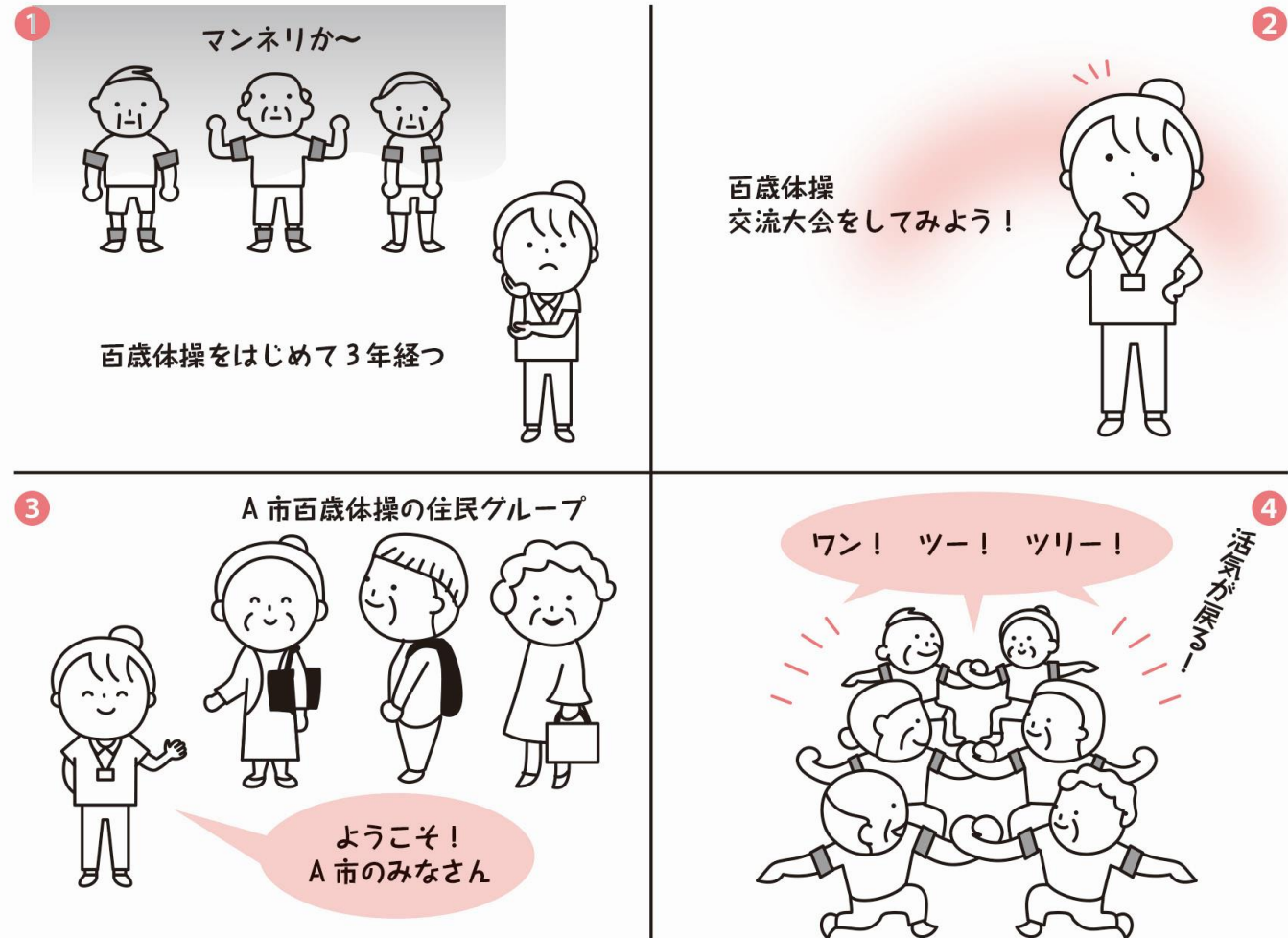
〈元気バックアップ〉・・・住民・関係者が**自信をもって取り組みを継続するために、続ける元気をバックアップ**するワザです。

## 《やる気下支え》〈元気バックアップ〉 エピソード

保健師は、「いきいき百歳体操」を自主的に実施している住民グループから、「同じことをずっとやっていて、新鮮味が失せてしんどい」と聞きました。

そこで保健師は住民のモチベーションを高めるために、これまでの経験から少し新しいエッセンスを加えることが効果的と考えました。また先行実施している他県A市の住民グループが希望すれば交流に来てくれることを把握していたため、このA市のグループとの交流大会を提案してみました。

交流大会が実現し、A市の助け合い精神と躍動感に刺激を受け、「目指す姿がみえてきた!」と活気が戻ってきました。



## 《やる気下支え》〈元気バックアップ〉

### 何をめざすのか

- ◆ 住民が元気に活動を継続し、より発展的に動いていくことを目指す  
(住民を支える関係者・関係機関側の元気バックアップにも配慮)
- ◆ 成熟した住民グループ、組織的な活動を支えることで、地域全体の健康の向上につなげる

## ワザを活かすためのポイント

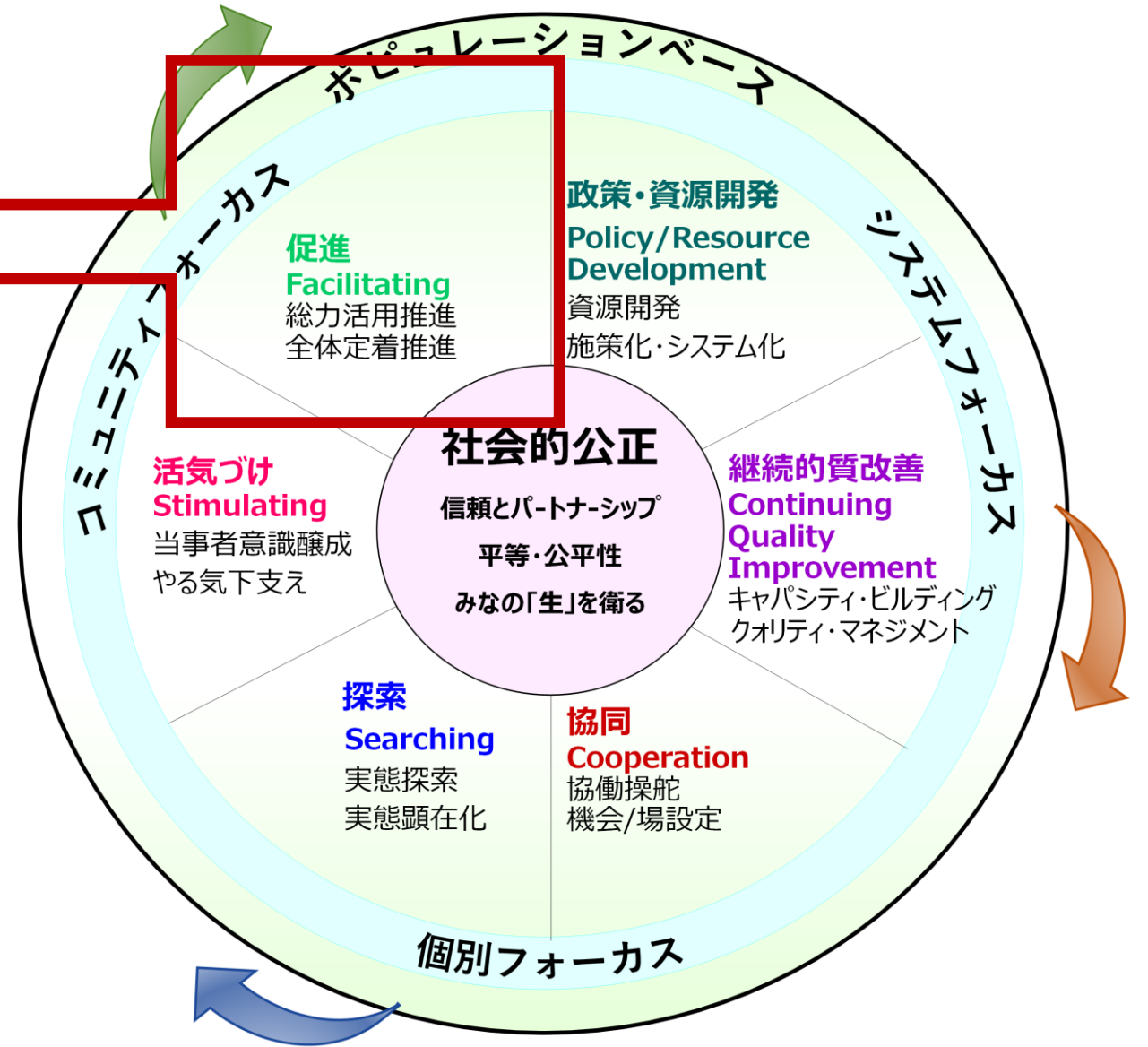
【活気づけ】全体を通して…

- ◆ その地域の客観的・具体的情報を提示し、気づきを引き出す。住民の反応を見守りながら「ワレラゴト」意識を醸成。
- ◆ あらゆる機会/場を活用して、目標がぶれないように住民にとっての「ワレラゴト」を確認、そして保健師の笑顔とパッションとともに、「みなで/ともに/楽しく」を浸透させる。
- ◆ 成果を視覚的にみせる、体験談を聞く機会を設ける等で「やりたい」気持ちに火をつける。そして、住民のやる気が高まるまで「まつ」。「やりたい」となったら即行動。
- ◆ 活動継続のために、リーダーへの継続的サポート、住民組織が活躍できる場の提供、次の人材を育成をサポート。

# ワザの各論 スゴワザ発見伝！

めざす方向性 ポピュレーションの最良のポジティブヘルス状態（公衆衛生の向上）

【促進】



## 《総力活用推進》

〈担い手拡充〉・・・地域の総力を活用するために、**主体となる担い手を増やす**ワザです。

〈相互寄与見せ〉・・・担い手がやりがいをもって活動するために、**互いの貢献の認め合いを促進**するワザです。

## 《全体定着推進》

〈地域普及〉・・・地域全体にポジティブヘルスが定着するように、**地域の強みを高めることに寄与する考え方や行動が波及するための活動を段階的に推進**するワザです。

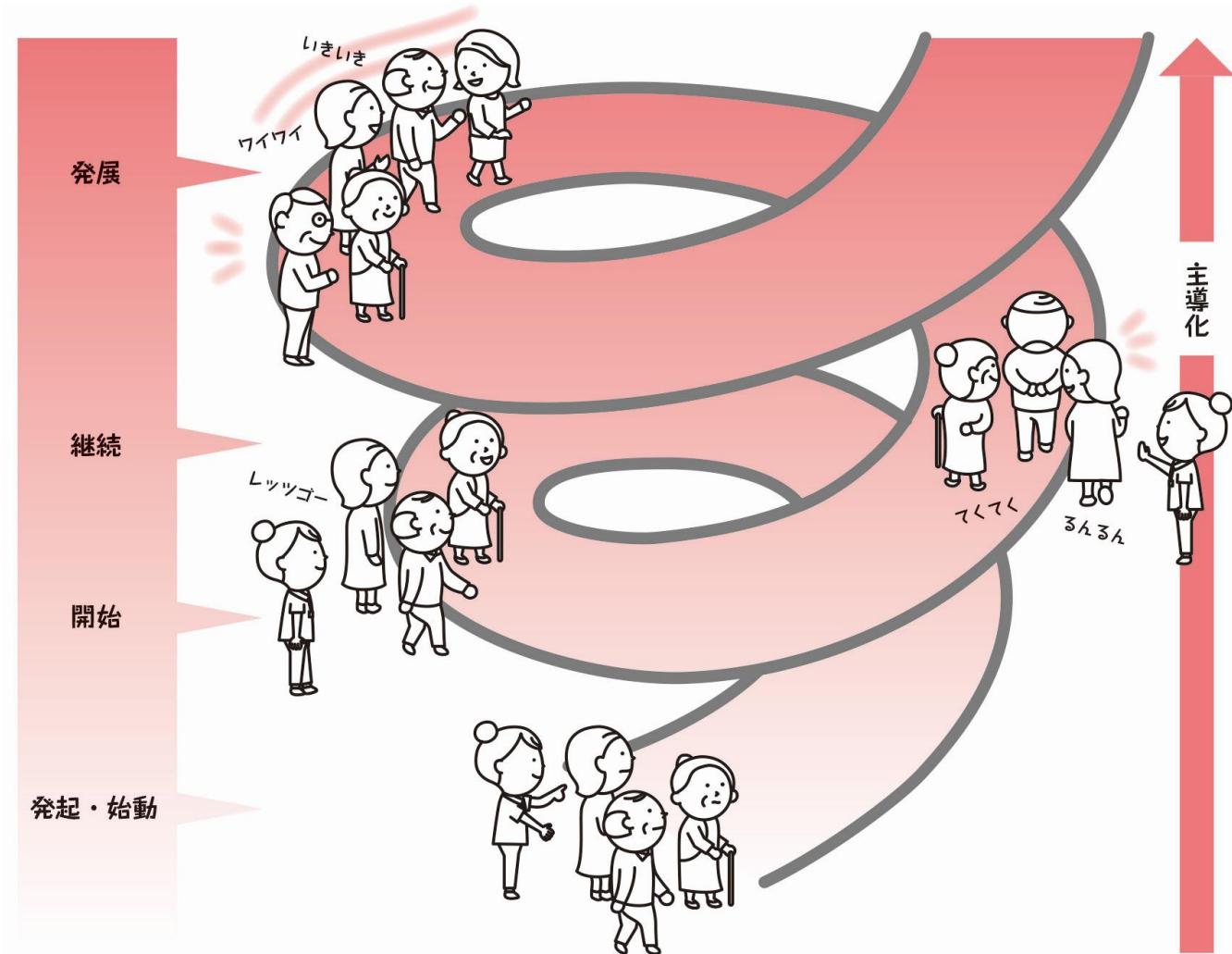
〈主導化応援〉・・・地域全体にポジティブヘルスを定着させるために、**住民主導の活動を応援し、段階的に推進**するワザです。



## 《全体定着推進》〈主導化応援〉

## エピソード

A地区住民から「身近に何か活動のできる場が欲しい」と相談がありました。ちょうど隣のB地区では、ウォーキングなどを行う住民の集いの場ができました。保健師は、A地区住民とともにB地区のメンバーから話を聞いたところ、A地区住民はB地区の活動に感動し、自分たちもやりたいという気持ちになりました。保健師は具体的な活動を段階的に実施できるように支援しました。その後、A地区でも集いの場が開催されるようになりました。集いの応援団が結成されるなど、新たなムーブメントが起こりました。



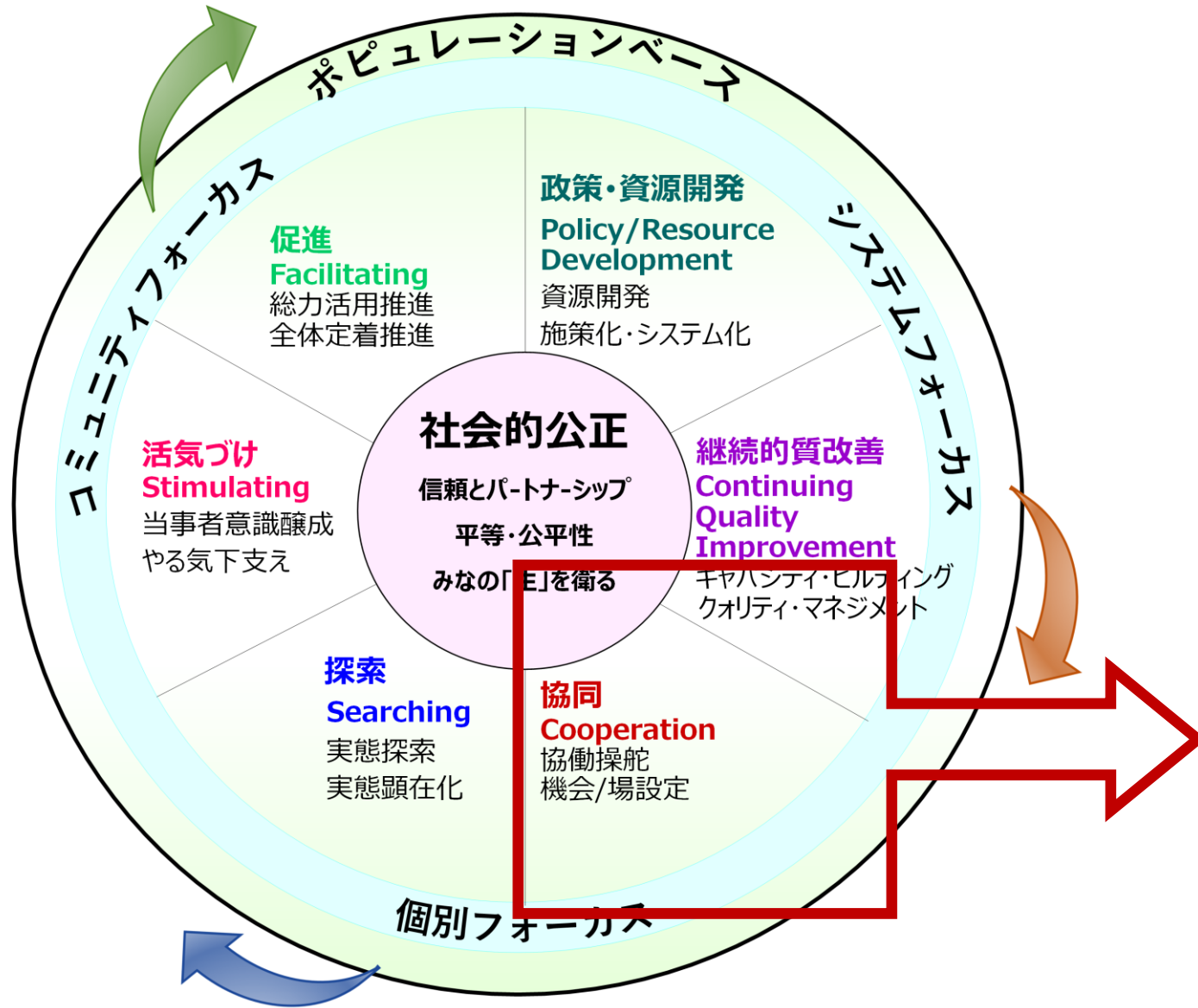
## 《全体定着推進》〈主導化応援〉

### 何をめざすのか

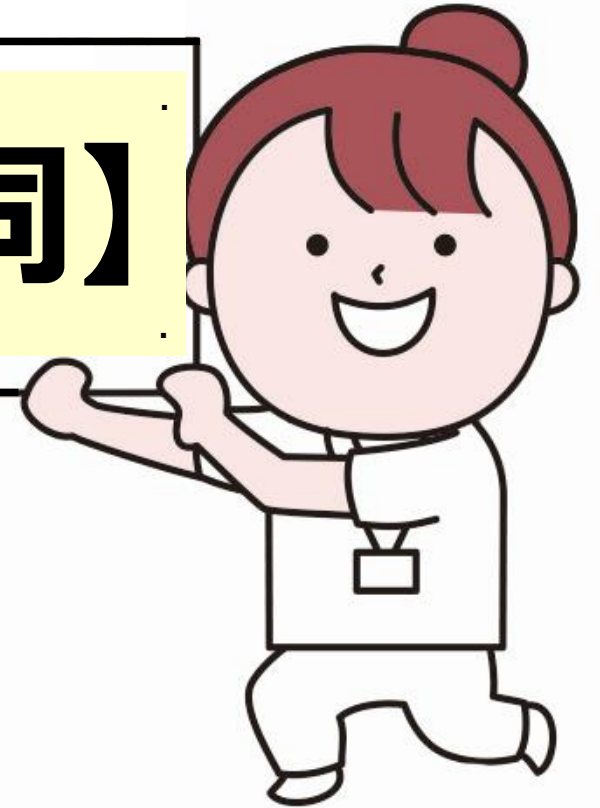
- ◆ 地域のポジティブヘルスを推進するために、住民が自律して活動するようになり、活動が定着することをめざす
- ◆ 地域の強みとなる【住民の状態】をめざす。つまり、住民の、①連帯・助け合い力、②パートナーシップ形成力、③資源発掘・活用力、④折り合い・統制力、⑤キャパシティ発展力、⑥意思決定・組織的推進力、の掘り起こし、強化、発展をめざす

### ワザを活かすためのポイント

- ◆ 住民のやる気をキャッチする
- ◆ ワレラゴト化を促す
- ◆ 住民が意思決定をする
- ◆ 住民が自律してやっていけるかをアセスメントする
- ◆ 住民の希望に迅速に対応する
- ◆ 住民主導を段階的に進めるための、継続基盤を整える
- ◆ 道筋を示す（計画やロードマップなど）
- ◆ 主導化の状況に応じてかかわり頻度や支援内容を縮小する
- ◆ 継続の支援をする



**【協同】**



## 《協働操舵》

〈成長系協働〉・・・保健師が機能的なチームを構築し、メンバー全員が目標を共有し、互いの成長を確認しながら協働を進めるワザです。

〈発展系調整〉・・・保健師が住民や関係者・関係機関を総合的に調整し、発展的な展開を導くワザです。

## 《機会/ 場設定》

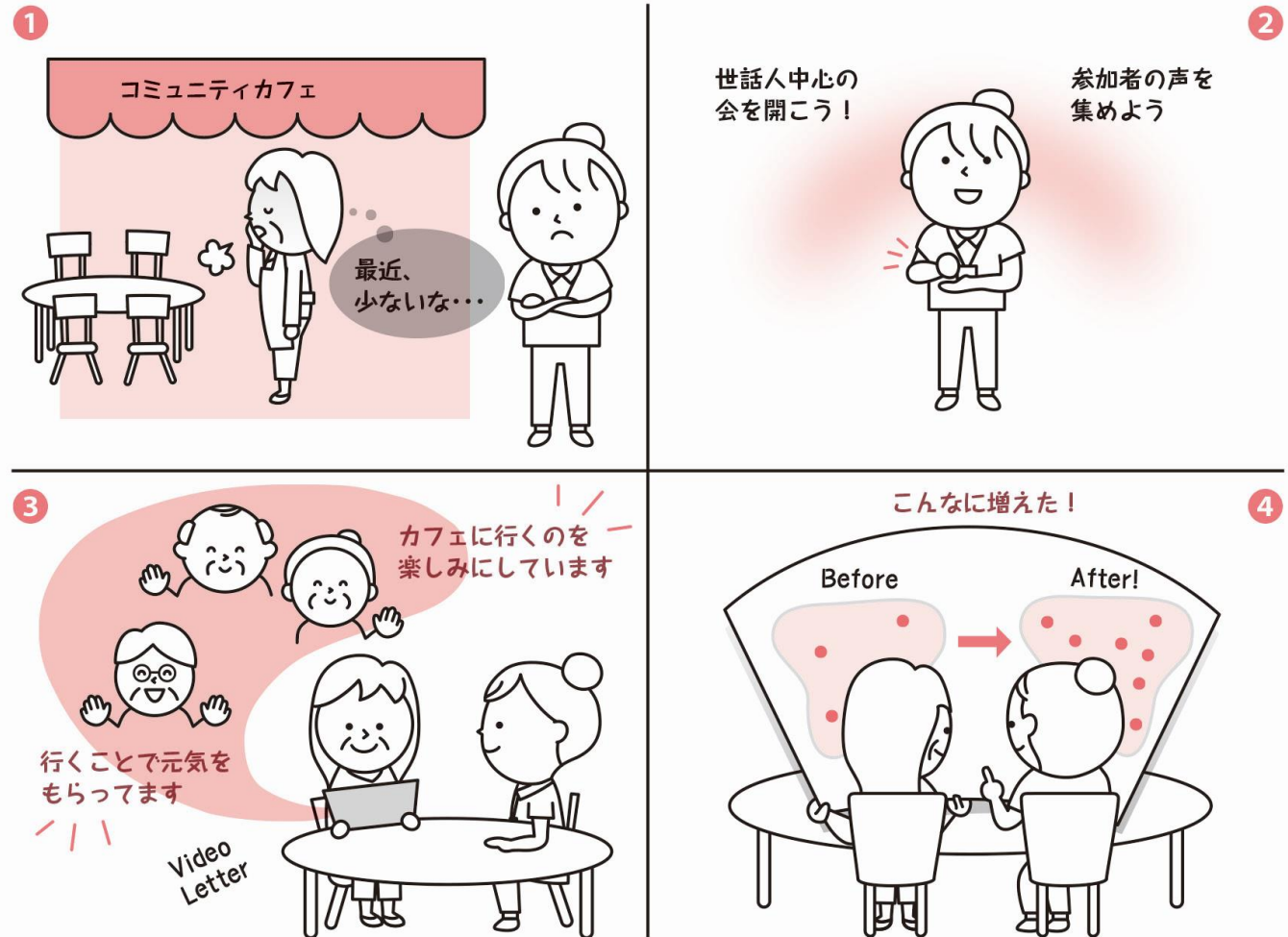
〈ポジティブヘルス転換〉・・・ポジティブヘルスに向かう意義を実感し、行動すべきことを再確認できる機会と場を設定することによって、ネガティブな状態からポジティブな状態に転換を図るワザです。

〈実現固め〉・・・目的に応じた機会と場を設定することによって、住民やその周辺状況の変革の実現を確実にするワザです。

## 《機会/ 場設定》〈ポジティブヘルス転換〉

### エピソード

- ① 保健師は参加者の減少や運営に対する苦情があり、コミュニティカフェの世話人らがとても疲れていることに気づきました。
- ② 世話人が主役になれる機会が必要と考え、井戸端会議を立ち上げました。
- ③ 参加者のポジティブな意見や感想をビデオレターとして編集し、上映しました。世話人らは、コミュニティカフェの目的と楽しさを再確認しました。
- ④ コミュニティカフェの数は減ることなく、さらに地域全体に広がっています。



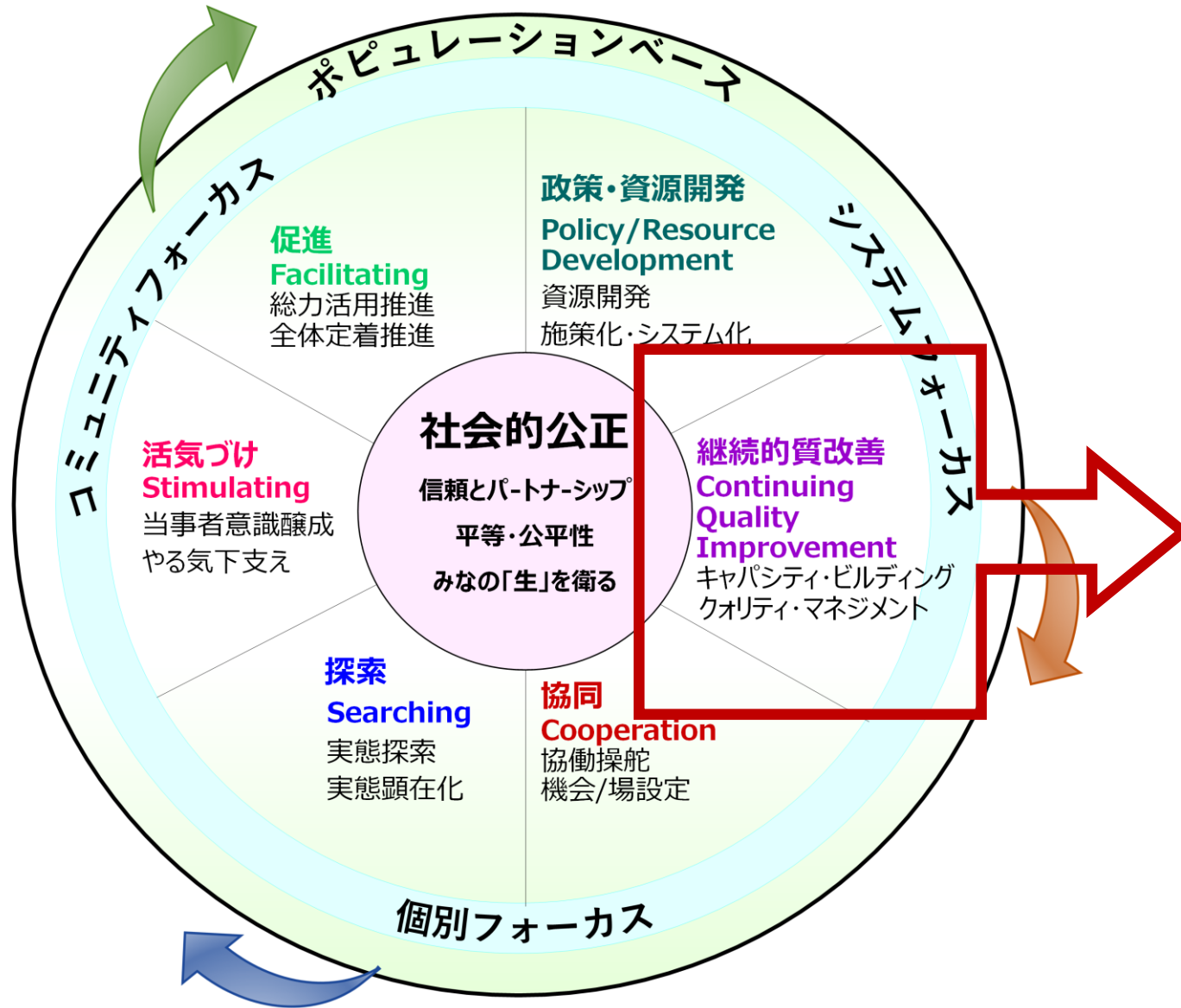
## 《機会/場設定》〈ポジティブヘルス転換〉

### 何をめざすのか

- ◆ ポジティブな方向へと【活気づけ】や【促進】が進み、活動の前進をめざす
- ◆ 住民だけ、あるいはひとつの専門職だけではできない仲間づくりやネットワーク構築、ガイドライン作成などを堅実かつ円滑に進める

### ワザを活かすためのポイント

- ◆ 不足あるいは損なわれている価値（知識、関心、責任感等）を検討する
- ◆ ネガティブな状態にある心や、心をネガティブな状態にする状況に着目する
- ◆ 定期的に活動等に参加し、住民のネガティブな変化を察知する
- ◆ キーパーソン等との事前打合せを経て設定した機会/場に臨む
- ◆ プロセスで共同作業（共通の経験）を行う



【継続的  
質改善】



# 【継続的質改善】Continuing Quality Improvement このワザの全体像

## 《キャパシティ・ビルディング》

〈キーパーソン開化〉・・・キーパーソンとなる人材のキャパシティを開拓し広げるワザです。

〈成解合作<sup>せいかいがっさく</sup>〉・・・保健師・住民・多職種が協力して知恵や打開策を創出し、地域や各自の力量を広げるワザです。

## 《クオリティ・マネジメント》

〈全体質点検〉・・・地域全体の継続的質改善のため、総合的に全体の質を点検するワザです。

〈ボトムアップ改善〉・・・住民・関係機関と共に、ボトムアップで改善を推進するワザです。



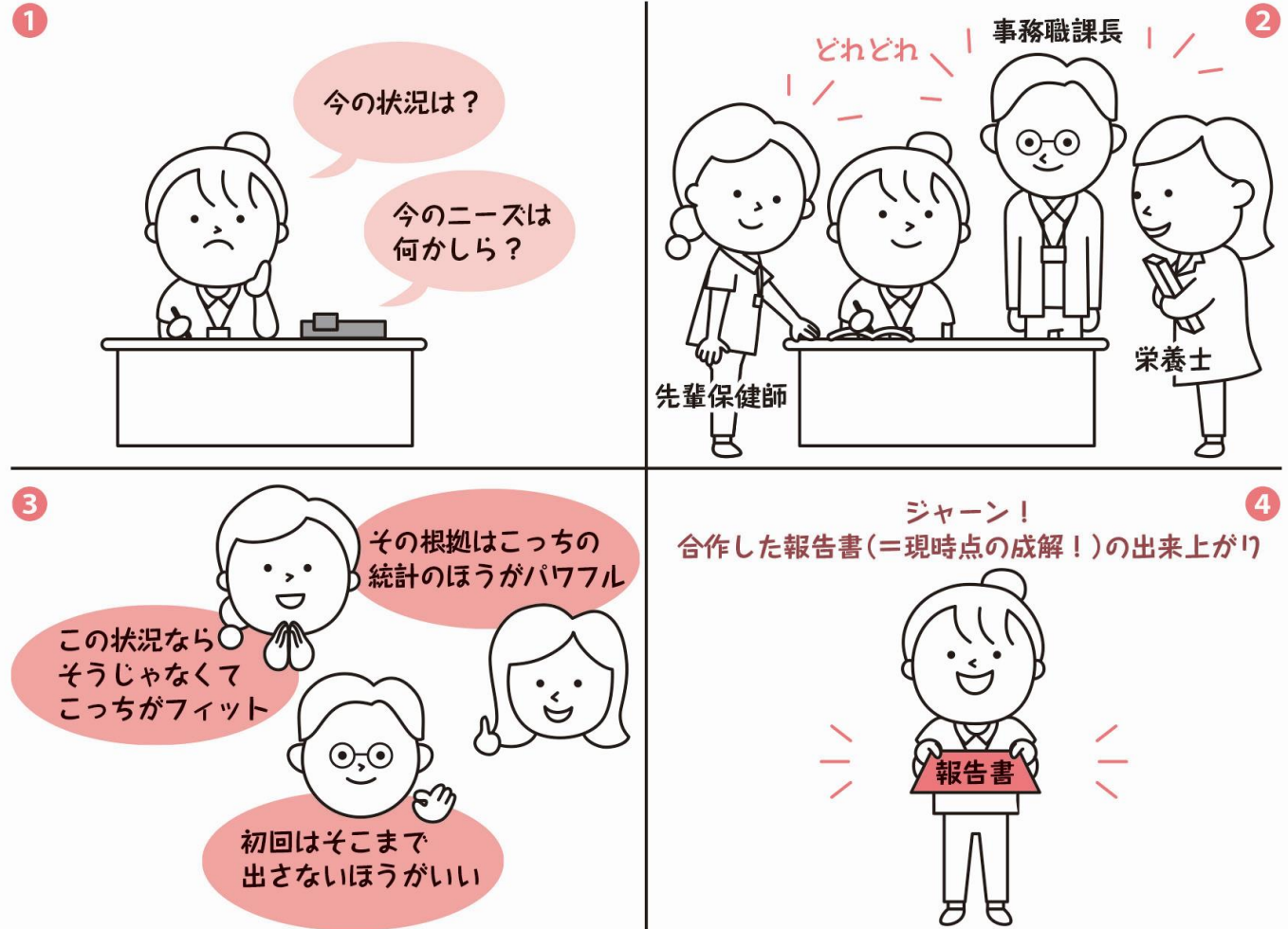
# 【継続的質改善】Continuing Quality Improvement

# ひとつ紹介

## 《キャパシティ・ビルディング》<sup>せいかがいがっさく</sup>〈成解合作〉

### エピソード

地域のつながりが希薄化し、子どもや他者とのにかかわりに課題がある母親が増えてきたと感じた保健師は、ハイリスク者を対象とする既存の子育て教室を、今の母親のニーズにあったものに改善したいと考えました。当事者である母親、住民組織、保育士、栄養士等と協力して、それぞれの得意分野からの意見を出し合うことで、親子の触れ合いや母親同士の座談会を盛り込んだ、新たな教室を立ち上げました。終了後も参加可能なブースを設け、継続的なつながりを持てることがこの教室のウリです。



# 【継続的質改善】Continuing Quality Improvement このワザのポイント

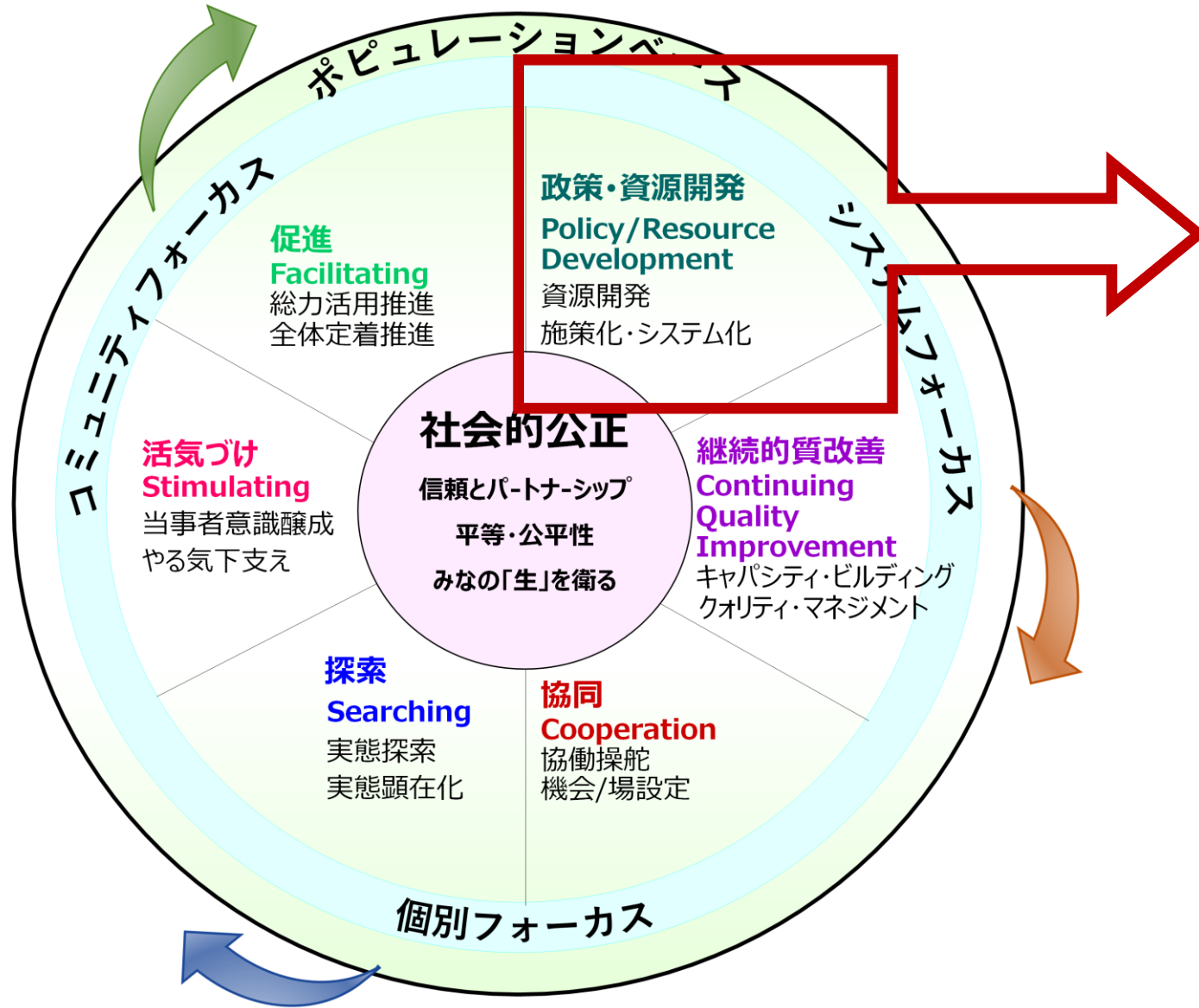
## 《キャパシティ・ビルディング》<sup>せいかがっさく</sup>〈成解合作〉

### 何をめざすのか

- ◆ 地域成員のキャパシティを広げ、地域の継続的な質改善をめざす
- ◆ 人々の状況・ニーズを正しく判断し、それに応じた成解を導き続ける
- ◆ そのプロセスで、保健師・住民・関係者がその力量を開拓・拡大できる

### ワザを活かすためのポイント

- ◆ 「時を読む力」「機を読む力」を高める
- ◆ 関連事情の知識を得る、学習する
- ◆ 省察的で未来志向な実践をする
- ◆ 協力し合える住民・関係機関・職種を知り、尊重し合う
- ◆ 「協働」のワザを併用する



【政策・  
資源  
開発】



# 【政策・資源開発】Policy/Resource Development このワザの全体像

## 《資源開発》

〈資源化〉 ……社会資源を必要とするニーズに気付いて明確化し、実現のための準備や調整を行う 社会資源開発に導くワザです。

〈活用促進〉 ……社会資源の実用化のために、個々の社会資源の活用のみでなく、より広く、より多くの人々が共同で活用できるように促進するワザです。

## 《施策化・システム化》

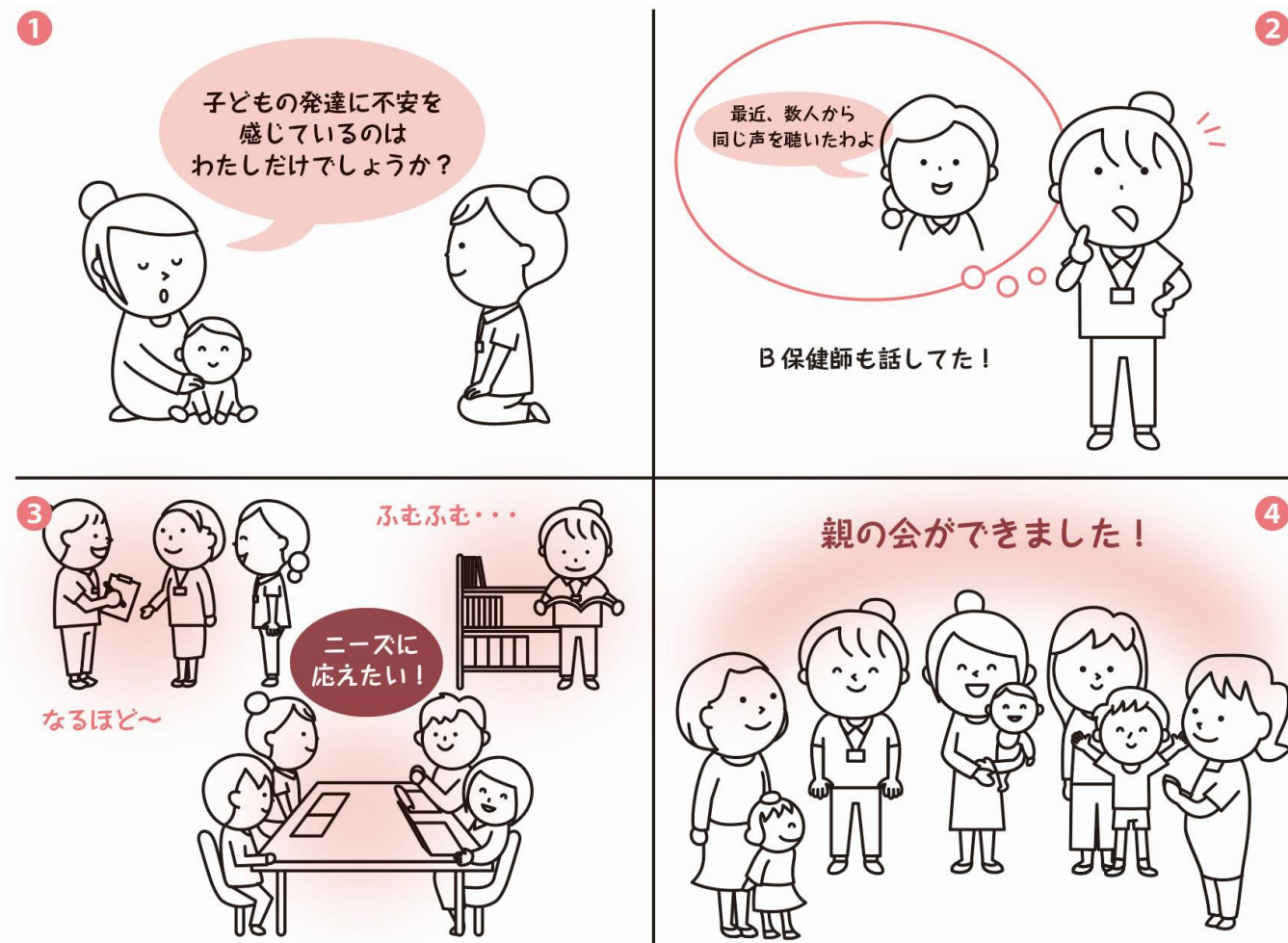
〈優先度明示〉 ……施策化やシステム化の必要性と方向性を明確に示すために、地域で取り組むべき課題の優先度を、実態の分析から根拠に基づいて明示するワザです。

〈決定・構築・整備〉 ……地域の課題を解決・改善する施策化・システム化を行うために、関係機関が意思決定できるよう働きかけて構築につなげ、構築後も継続的に整備するワザです。

## 《資源開発》〈資源化〉

### エピソード

A保健師はB町で働く子育て真っ最中の保健師。個別支援の中でお母さんたちから「他のお母さんはどうしているのかしら」という声を聞きました。同僚の保健師も同様の声を聞いたと話していたのを思い出し、他の保健師にも話を聞いたり、地域の社会資源を整理し直しました。同様の声が多くあること、既存の社会資源ではニーズを満たせないことがわかり、ニーズ実現に向けて検討を開始しました。実現可能な場所とプログラムで始まった「親の会」は参加者の希望で継続開催となり、親が主体の会となりました。



## 《資源開発》〈資源化〉

### 何をめざすのか

- ◆ これまでの保健師が、地域のニーズから、デイサービスのもととなる事業を試行したり、ケアマネジャーやヘルパーのもととなる役割を担ったりすることでその専門職の必要性を明らかにしてきた
- ◆ 今はまだない社会資源の創出に取り組む
- ◆ 変遷していく社会環境や制度,変化していく地域の特性を考慮し, 将来の地域に必要な資源を感知し, 生み出していく

## ワザを活かすためのポイント

- ◆ 気付きの感度を高める  
対象者のニーズに気付く感性をもつ
- ◆ 資源の欠落や不足, 充足を要する資源の種類や量を把握する
- ◆ 既資源の潜在力（適用・変容・試行可能性）を判断する
- ◆ 実現可能性を高めるために、資源化のパートナー（人員, 職種, 機関）・情報・予算を確保する
- ◆ 総合的に考えて計画的に準備や調整を進める



\*ご清聴ありがとうございました。

\* ご意見、ご感想などお気軽にメールください  
reiko@sahs.med.osaka-u.ac.jp  
reiko.phn@gmail.com

